

(案)

令和 3・4 年度  
堺市堺区政策会議のまとめ

令和 4 年 3 月

## 目次

<b>1 会議の背景</b> .....	<b>1</b>
(1) 自然災害リスクの高まり	
(2) 堺区における災害のリスク	
(3) 堺区の実情	
<b>2 会議のテーマ・検討項目</b> .....	<b>2</b>
・会議テーマ	
・検討項目	
<b>3 構成員からの主な意見まとめ</b> .....	<b>2</b>
A. 担い手の育成	
B. 帰宅困難者対策（通勤・通学）	
C. 観光客対策	
D. 要支援者等への支援	
E. 堺区における防災の取組について	
（参考）令和4年度防災事業の取組について	
<b>4 今後の取組の方向性について</b> .....	<b>7</b>
（参考）.....	<b>8</b>
■堺市堺区政策会議構成員名簿	
■令和3、4年度政策会議経過	

# 1 会議の背景

## (1) 自然災害リスクの高まり

全国的に大規模な風水害による被害が多発しており、堺市においても平成 30 年 9 月 4 日の台風 21 号では、強風による人的被害や広範囲に及ぶ停電、家屋の全半壊など、甚大な被害が発生しました。

さらに南海トラフや上町断層帯などの巨大地震が発生すれば、本市においても深刻な被害が予測されます。

## (2) 堺区における災害のリスク

堺区は、西を大阪湾に、北を大和川に接しており、次のリスクが想定されています。

### ○風水害による主なリスク

- ・大和川氾濫による洪水
- ・台風による高潮（想定条件：台風＋大阪湾を通る経路＋満潮時の上陸）

### ○地震による主なリスク

- ・上町断層帯地震（震度 6 強～震度 7）
- ・南海トラフ巨大地震（震度 6 強）による津波



## (3) 堺区の実情

- ・多数の企業が立地  
→堺区 8,026 事業所（全体の 27.9%）～堺の事業所・H28 経済センサス～
- ・主要駅（堺駅、堺東駅、三国ヶ丘駅）の立地  
→帰宅困難者想定 堺駅 2,576 人、堺東駅 3,659 人、三国ヶ丘駅 944 人  
～堺市帰宅困難者対策ガイドライン～
- ・夜間人口より約 2.3 万人多い昼間人口  
→堺区 流出 35,544 人、流入 58,964 人～国勢調査で見る堺 H27 年国勢調査結果～
- ・観光客の増加  
→仁徳天皇陵拝所来訪者（土日祝） H30：46,972 人→R 元：116,312 人
- ・全区で一番多い単身高齢者  
→堺区 15,615 人（区内人口の 10.6%）（全市の 21.3%）～R3.3 末住民基本台帳～
- ・全区で一番多い外国人居住者  
→堺区 4,954 人（区内人口の 3.5%）（全市の 32.6%）～R3.8 末住民基本台帳（外国人住民を含む）による世帯数・人口～
- ・避難先の多様化（自宅、知人宅、自家用車、公園へのテント設置）
- ・担い手の固定化  
→堺区の防災委員の年齢構成は、50 歳代以上が 84.6%

## 2 会議のテーマ・検討項目

堺区の実情に対応しさらなる防災対策の充実を図るため、次のテーマ・項目に沿って、区内で防災活動に関わる区民の方や区内企業関係者、大学生、学識経験者から意見を求めました。

### ○会議テーマ： 堺区の実情を踏まえた「防災体制の再構築」

#### ○検討項目

- A. 担い手の育成について
- B. 帰宅困難者対策（通勤・通学）について
- C. 観光客対策について
- D. 要支援者等への支援について
- E. 堺区における防災の取組について  
（参考）令和4年度防災事業の取組について

## 3 構成員からの主な意見まとめ

### A.担い手の育成についてのご意見

- ・防災の取組を充実させるには、若い世代の参画も重要。そのためにも、健診やPTA・学校の授業で啓発を行うなど、小中学生やその保護者を対象とした取組が必要。
- ・各校区での好事例を共有するなど防災に関係する人や団体が集まり情報交換できる場が必要。
- ・防災訓練を行うたびに気づきがあるので、気づきに対応した訓練を実施するなどマンネリ化を防ぐ訓練のリニューアルも必要。
- ・消防団制度がない堺区では、地域の防災のリーダーを育成していくことが重要。
- ・自主防災組織において、防災の知識とスキルを持った人材を増やしていくことが必要。

### B.帰宅困難者対策（通勤・通学）についてのご意見

- ・鉄道運休時は避難所等の安全な場所で運行再開を待ついただくことが必要なため、運行状況などの情報提供や一時滞在施設等への誘導が重要。
- ・発災後の「避難」「避難所へ移動」「帰宅」などの各段階において、事業者、学校などが事前に何を担い、何を行うべきなのか、考えておくことが必要。
- ・鉄道事業者としては、駅舎スペースや備蓄物資が十分になく、長時間の帰宅困難者の受入は難しい。

- ・災害の初期にどう行動すべきか、自身の安全確保、安否確認システムによる報告、入社時の判断基準などを社内マニュアルにまとめるとともに、食料・衛生用品・テントなどを3日分備蓄し、年2回防災訓練を実施している。一方、待機後の帰宅経路が安全かどうか等の情報をどのように収集するかという課題もある。
- ・通学時には帰宅困難に備え、飲料水、災害情報アプリ、充電パックを準備している。
- ・地元校区にある団地の空室や高校、大学を災害時に活用できるとよいのでは。
- ・吹田市では地域防災リーダーがコンビニとともに帰宅困難対策の訓練に参加しており堺区でも参考となる。
- ・阪堺線以西の津波・湛水リスクをふまえ、広域に連携しての帰宅困難者・観光客の東への迂回ルートや校区住民の避難先をどうするか対策が必要。

### C. 観光客対策についてのご意見

- ・外国人観光客等が災害時に迅速に情報を収集できるように、外国人観光客が接する機会が多い鉄道事業者やホテル協会等と連携することが必要。
- ・市内3か所の観光案内所では、地震災害冊子（府・保険会社）、セーフティインフォメーションカード（政府観光局）、大阪観光局のHP、SNS、デジタルサイネージを活用した災害情報の提供に取り組んでいる。またピクトグラムを活用した災害啓発や避難所などの災害関係情報のアナウンスに積極的に取り組む必要があると考えている。

### D. 要支援者等への支援についてのご意見

#### ○単身高齢者の防災対策について

- ・災害時に「無事ですカード」（又はタオル）を自宅前掲出することで、居住者の安否を素早く特定することができる。訓練などを通して、この仕組みを定着させることが重要。また、災害時に提出されていない家庭には、個別に安否確認を行うなどの仕組みを考えていく必要もある。
- ・避難行動要支援者の情報を住宅地図等に記載したものを作成し、日頃からの見守り・状況把握に活かすなどの取組も有効である。

#### ○外国人居住者を支える防災対策について

- ・外国人居住者向けの防災啓発については、属している企業や学校、区内の民間国際交流団体やNPO等を通じて取り組むことが有効と考える。

#### ○その他

- ・災害発生直後、速やかに避難できるためには日常的に災害リスクを身近に意識できることが重要。避難所の位置や津波・高潮・洪水等浸水エリアを示す掲示物やペイントを建物外壁や歩道などにピクトグラム等を整備し、災害リスクの見える化を図ってはどうか。

(参考) 令和4年度防災事業の取組について

	取組内容	取組実績
将来の担い手育成	「健診と連携した防災啓発」と「子育て世代向けの防災出前講座の実施」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子育てファミリーのための防災ブック-堺区版-」を9月に作成 ⇒ 市政情報センター等で配布</li> <li>・子育て世代に向けた出前講座を実施 ⇒ 10月から4か月健診で活用し、計7回365人参加</li> </ul>
	学校における防災出前講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堺市総合防災センターでの体験学習時に出前講座を実施 ⇒ 10月から計207人参加</li> <li>・小学校で出前講座(授業)を実施 ⇒ 9月から計295人参加</li> </ul>
	親子向けの防災啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「堺区防災・防犯フェスタ」を11月に開催 ⇒ 約2,000人来場</li> <li>・堺区公式 YouTube チャンネル「サカエル TV」にて防災活動の動画を3月に作成、発信</li> </ul>
地域防災力の強化	防災士資格取得の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士資格取得者 18名 (R4年度実績)</li> <li>・堺区防災サポーター 52名 (R5年3月時点)</li> </ul>
	堺区防災サポーターの育成・活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月 意見交換会</li> <li>・7、10、11月 ステップアップ研修会</li> <li>・12月～2月 自主防災訓練</li> <li>・11月 堺区防災・防犯フェスタ</li> <li>・2月 大阪公立大学と連携し「コミュニティ防災人材プログラム」を実施</li> </ul>
	堺区防災サポーター間での情報共有手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションツールとしてビジネスチャット LINE WORKSを導入</li> <li>・LINE WORKS 登録者 36名 (R5年3月時点)</li> </ul>
誰一人取り残さない防災体制の構築	外国人観光客等との災害時の情報共有	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「堺区お役立ち防災カード」を3月に作成。英語や中国語など7か国語で対応。</li> <li>・ホテルや観光案内所、南海電鉄の3駅(堺、堺東、三国ヶ丘)、JR 阪和線(堺市駅、三国ヶ丘駅)などで配布。</li> </ul>
	単身高齢者の安否確認に向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の方々へ「無事です札」等による安否確認訓練を提案</li> <li>※「無事ですカード」の実施状況。 作成済み…8校区 訓練で活用…6校区</li> </ul>
	企業等への一斉帰宅抑制への啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堺防災協会加盟の約300事業所へ「大規模災害時の行動ルール・計画策定のすすめ」配布</li> <li>・10月に大規模災害時の帰宅困難者対策研修を実施 ⇒ 参加者49社</li> </ul>

## E. 堺区における防災の取組についてのご意見

### ○「将来の担い手育成」について

- ・若い人の防災意識の醸成やその枠組みをつくることが重要。
- ・防災リーダーを学生から育成することや、小・中学生向けの防災意識向上につながる取組（地域の危険箇所に気付かせる「まち歩き」など）を強化することは、若い世代の参画という点において良い取組である。
- ・特に中学生は将来の地域防災の担い手として期待できるため、中学校向けの取組（出前講座等）を強化すべきである。
- ・健診等との連携や楽しい防災イベントを企画するなど、多くの子育て世代が参加いただけるように工夫を凝らし、防災に触れる機会を作ることが大切。
- ・VRを活用した災害体験でも、防災意識が高まるので、そういった取組を取り入れてはどうか。

### ○「地域防災力の強化」について

- ・自助公助だけでなく、それぞれの地域にある資源等（たとえば自治会等とつながりのある企業・大学・病院・店舗など）との連携を進めていくことが重要。
- ・地域と企業の防災訓練に相互に参加するなど、連携の手法を検討していきたい。
- ・防災サポーターの組織化や地域の防災リーダーの交流会の開催など、人的なネットワークの強化や共通した対策に取り組むことが大切。イベントで企画を手伝ってくれるコンサルタントや NPO、大学の研究者などの専門家とも交流することで、地域防災の幅が広がる。LINE WORKS は日常的な情報交換だけでなく災害時にも有効。
- ・地震後の屋根の養生など、様々な技術・知識を防災士が習得することで活動の幅も広がる。
- ・保護者向けのマップや防災お役立ちカード等の取組については、区単位だけでなく、全市、さらにはより広域に展開していくことが必要。好事例を共有することで、防災活動の底上げが進むのではないか。
- ・外国人居住者への防災啓発等を進めるためにも、外国人の防災サポーターの育成も検討してはどうか。

### ○誰一人取り残さない防災体制の構築

- ・「無事ですカード」は、地域住民全員で作成することで、地域防災強化、共生社会の実現につながる。
- ・独居高齢者だけでなく、障害者等の要配慮者への防災対策も強化していく必要がある。
- ・企業の一斉帰宅抑制への啓発や有事の際の従業員をどこに移動させるか等のシミュレーションを行政と企業で連携して検討していきたい。


## 4 今後の取組の方向性について

会議のご意見を踏まえ、3つの重点取組である「将来の担い手育成」「地域防災力の強化」「誰一人取り残されない防災体制の構築」について、既存取組の充実、また新たな取組を検討、実施するなど、地域防災力の向上に向けた取組を今後も継続して進めていきます。

### 【令和5年度の主な取組】



#### ① 将来の担い手育成

**取組の方向性 ～若い世代の主体的な防災活動への参画～**

<p><b>【継続取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 親子向けや小中学生向けの防災啓発の強化             <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てファミリーのための防災ブックの活用</li> <li>・防災啓発動画のYouTube配信（拡充）</li> <li>・親子防災キャンプを開催</li> <li>・学校における防災出前講座実施</li> </ul> </li> </ul>	<p><b>【新規取組】</b> <b>堺区防災 DAYS</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン防災アトラクション</li> <li>・防災自由研究講座</li> </ul> 
---	---


#### ② 地域防災力の強化

**取組の方向性 ～多様な主体の地域防災活動への参画～**

<p><b>【継続取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 堺区防災サポーター             <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災士資格取得の補助</li> <li>・堺区防災サポーターの育成・活動拡大促進</li> </ul> </li> <li>■ 学校、企業等との連携手法の検討</li> </ul> 	<p><b>【新規取組】</b> <b>男女共同参画の視点に基づく避難所訓練</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的トイレの設置やピクトグラム等を活用したわかりやすい避難所の検討</li> </ul>  <p>※ピクトグラムは検討中のものです。</p>
--	--

#### ③ 誰一人取り残さない防災体制の構築

**取組の方向性 ～要配慮者への対応の強化～**

<p><b>【継続取組】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外国人観光客等との災害時の情報共有</li> <li>■ 単身高齢者の安否確認に向けた支援（「無事ですカード」の活用等）</li> <li>■ 企業等への一斉帰宅抑制の啓発等</li> </ul>	<p><b>【新規取組】</b> <b>サイン整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・津波リスクに対しての特徴ある避難誘導サインのモデル整備</li> </ul>  <p>※写真はイメージです</p>
--	--



(参考)

■堺市堺区政策会議構成員名簿

◎座長 ○職務代理者

氏名	主な役職等
おおさこ のりへい 大佐古 規平	南海電気鉄道（株） グループ統括室人財戦略部 次長
かわさき えり 川崎 絵梨	関西大学学生
しばとう ていいち 柴藤 貞一	英彰校区自治連合会 会長
たなべ えいこ 田邊 永依子	堺ホテル協会 シティホテル青雲荘 常務理事
○ ぬくい えみこ 湯井 恵美子	福祉防災コミュニティ協会 福祉防災上級コーチ 防災企業連合 関西そなえ隊 事務局
はしもと しんたろう 橋本 紳太郎	(株)クボタ 堺製造所勤労課 担当課長
◎ べにや しやうへい 紅谷 昇平	兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 准教授
みずたに しんいち 水谷 信一	堺区防災サポーター
みやさと ひでとし 宮里 秀俊	日本防災士会大阪府支部 堺ブロック長
やすだ さほ 安田 沙穂	(公社)堺観光コンベンション協会

(50音順)

## ■ 政策会議経過

### ・令和 3 年度

	開催日	議 事
第 1 回	令和 3 年 10 月 11 日 (月)	(1) 座長及び職務代理者の指名について (2) 会議の趣旨及びスケジュールについて (3) 防災体制の再構築に向けて
第 2 回	令和 3 年 12 月 20 日 (月)	(1) 第 1 回会議での意見の振り返り (2) 「帰宅困難者対策」・「観光客対策」の検討項目 (案) について
第 3 回	令和 4 年 2 月 9 日 (水)	(1) 第 2 回会議での意見の振り返り (2) 「要支援者等への支援」の検討項目 (案) について
第 4 回	令和 4 年 3 月 25 日 (金)	(1) 第 3 回会議での意見の振り返り (2) 令和 3 年度堺市堺区政策会議のまとめ (案) について (3) 次年度の取組について

### ・令和 4 年度

	開催日	議 事
第 1 回	令和 4 年 11 月 7 日 (月)	(1) 令和 3 年度堺市堺区政策会議の振り返り (2) 堺区における防災の取組について
第 2 回	令和 5 年 2 月 17 日 (金) 【書面会議】	(1) 令和 4 年度 堺区防災推進事業取組実績について (2) 令和 5 年度 堺区防災推進事業取組予定について
第 3 回	令和 5 年 3 月 17 日 (金)	(1) 令和 4 年度 第 2 回堺市堺区政策会議の 意見まとめについて (2) 令和 3、4 年度堺市堺区政策会議の総括について